

各地方指導事例及び参考指導事例

小学校 1年生(1-4②) —紀美野町立野上小学校—

Ⅱ 対処行動を知る A 地震から身を守る方法を知る (学級活動 1時間)

1 目標

- 地震から身を守るための正しい行動を知る。

2 展開

	学習活動と内容 主な発問・指示 (◇) 予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○) と評価 (☆)
【導入】	<p>1 学校で大きな地震が発生したときの身の守り方について学習することを知る。</p> <p>◇わたしたちのまちで大きな地震が起こったときについて考えてみましょう。</p> <p>◇大きな地震が起こると、学校や家、まちはどうなるでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">写真を提示</div> <ul style="list-style-type: none"> ・物が落ちてくる。 ・ガラスが割れる。 ・家が壊れる。 ・崖崩れが起きる。 ・道路に段差や地割れができる。 ・電気やガス、水道が止まる。 ・火事が起こる。 ・本棚やタンスなどが倒れる。 ・ピアノが動く。 ・塀が倒れる。 ・せまい道は塞がれる。 ・津波が来る。 	<p>○今まで、どんなところでどんなときに地震を経験したかを発表させる。</p> <p>○大地震が発生するとどのような被害が発生するのか想像させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-141】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-142】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-143】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-144】</p> </div> </div>
【展開】	<p>2 地震発生時の避難方法について、劇を見ながら考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ペープサート</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>◇大きな声で大騒ぎしたら、なぜいけないのか、考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送や先生の話が聞けなくなる。 ・あわてないで、机の下にもぐるほうがいい。 <p>◇早く避難しようと走ったり、人を押ししたりすると、なぜいけないのか、考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こけて、けがをする。 ・かいだんでこけると、あぶない。 	<p>○場面の様子がよく分かるような劇を見せて、意見を発表させる。</p> <p style="text-align: center;">【資料-148】ペープサート台本「あんぜんにひなんするには…」を参照</p> <p>① 大騒ぎする様子の劇を見せる。</p> <p>② 避難するときに、走ったり人を押ししたりする様子の劇を見せる。</p>

	学習活動と内容 主な発問・指示（◇）予想される子どもの反応（・）など	指導上の留意点 支援（○）と評価（☆）
【展開】	◇教室に忘れたものなどを取りにもどると、なぜいけないのか、考えましょう。 ・みんなからはぐれる。 ・ひとりになると、あぶない。 ・けがをするかもしれない。	③教室に忘れたものを取りに行こうとする劇を見せる。
【まとめ】	3 学習したことを、まとめる。 ◇大事なことを、まとめてみましょう。 お・・・おさない は・・・はしらない し・・・しゃべらない も・・・もどらない ◇学校で地震が起こったときどうするか、やってみましょう。 ①物が落ちてきそうなところから離れ、机の下などにもぐる。 ②揺れが収まったら、防災ざぶとんを被り、騒がず廊下に並ぶ。 ③人を押ししたり走ったりせずに階段を下り、運動場に避難する。 ◇休憩時間中で先生がそばにいないときはどうするか、確認する。 ・運動場にいるときは、教室に戻らず、運動場にいる。 ・教室やトイレや廊下にいるときは、先生がやってくるのを待たずに、安全なところを通過して運動場に集まる。	○【ワークシート-14②】に記入させる。 ①「おはしも」の約束を確認する。 ②その他の大事なことや、分かったことを書かせる。 ○実際に、避難訓練のようにやってみる。 【展開例】 ○【資料-147】訓練用緊急地震速報を流し、安全に行動できるように指導する。 ○急なトラブルがある場合は、避難経路が変わることも知らせる。 ☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。

出典：【資料-141】は文部科学省「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」

【資料-142】は総務省消防庁「チャレンジ！防災48」

【資料-143】【資料-144】は「釜石市津波防災教育のための手引き」